

人権アラカルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。

人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

鏡が「自殺」を防ぐ

札幌市営地下鉄のホームには、大きな鏡が設置されています。身だしなみを整えるためのもののように見えますが、設置当初（1984年）は、開業以来多かった自殺を減らすためのものだったそうです。自殺を考えている人が、鏡に映った自分の姿を見ることで、自身の不安定な気持ちを客観的に理解し、自殺を思い留ませようとするものです。効果は大変高く、海外でも報道されました。

警察庁の統計によると、10年以上連続して減少していた自殺者数が、令和2年は増加に転じ、特に、女性や若年層の増加が目立つそうです。外出自粛や生活環境の変化、著名人の自殺報道など、幅広い要因が考えられるとされています。

他国と比較すると、日本の自殺者数は世界3番目、自殺死亡率は5番目です。

先進国（G7）の中でも米国に次ぐ多さ・高さです。先進国では、若い世代の死因は「事故」「病気」が1位という国が多くを占めますが、日本の1位は「自殺」という点が特徴的です。また、女性の割合が比較的高い傾向にあります。

この状況に対して、平成29年7月に「自殺総合対策大綱」が閣議決定されました。大綱は、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」という理念の下、5つの基本方針と12の重点施策を掲げています。「総合対策」とあるとおり、あらゆる方面から取り組み、その後、施策の評価及び管理を行って、さらに大綱の見直しにつなげるという流れになっています。専門家の中には、その姿勢は評価するものの施策が多すぎて、実行を危ぶむ声もあるほど多彩です。国は、深刻な状況であるという認識が、それほど強いということです。

さて、札幌市営地下鉄の鏡は今もあります。しかし、現在は可動式ホーム柵がすべての駅に設置されており、これが自殺を防ぐ対策にもなっています。鏡は当初の役割を終え、今はもっぱら利用客の身だしなみを整えるために使われているそうです。全国どこの駅を利用する人も皆、身だしなみを整えるためだけに鏡を使うようになるといいですね。

